

《2025年度》

公益財団法人横浜学術教育振興財団
海外渡航費助成申請書

記載上の注意入り

2025年 6月 7日

公益
理

記入が必要なシートは3枚あります。
それぞれ印刷した時に1枚になるよう調整してください。
こちらは「海外渡航」に関する費用のみ助成対象です。宿泊費やオンラインで開
かれる学会の参加費、登録料などの申請はできませんのでご注意ください。

1. 氏名・発表テーマ等

氏名	(フリガナ) ヨコハマ イチロウ 横浜 市郎		
生年月日	(西暦) 2000 年 1月 1日生 満 24 歳 (2025年6月1日現在)		
現住所	〒123-456 横浜市金沢区瀬戸1-2	TEL	045-1234-5678
		e-mail	yokohamaichi@gmail.com
所属機関	所在地	横浜市金沢区瀬戸123	
	所属機関名	横浜大学	
	所属	国際科学部	
	役職名	講師	本務校がある場合はその本務先
最終学歴	横浜国際大学大学院国際研究科博士後期課程		大学名も記入してください
申請金額	(渡航先及び大学院生か否かにより上限額が設けられています。詳細：最終ページ注意事項) ¥ 200,000 (千円未満切捨て)		
テーマ 空欄のどちらかに○印	<input checked="" type="radio"/>	発表テーマ	(こちらにテーマを記載) International gap in Japanese society. (日本社会における国際的ギャップ)
	<input type="radio"/>	調査テーマ	
その他の助成の有無	助成金額 円 なし	助成機関名・資	一般研究者と院生で申請書と助成額が異なります。最終ページの注意事項を確認してください。また、航空運賃が、助成限度額より低い(安い)場合は、その金額で申請してください。
研究実績	・このページ内に入るよう、申請テーマに関する主要な実績 1. 査読付き論文 横浜市郎「国際社会のひずみと原点」横浜大学論集第50号, 2024 横浜市郎、関東マナブ「パンデミック後の国際貿易の変革」国際ジャーナルvol.12, 2023. 2. 学会発表 Ichoro Yokohama "International Pndemic Shock." The 12th International Society Conference, 2023		

2. 会義・調査等の概要

会議・調査名 (和名がない場合でも適宜日本語に訳して記載してください。)	(会議名) The 13th International society conference			
	(和名) 第13回国際社会会議			
主催団体	International Society Association (国際社会学会)			
開催期間	2025年8月23日～25日			
開催地	国名	ドイツ	都市名	ベルリン
開催規模	参加国数	約30カ国	参加者数	1000名
会議・調査の目的	国際社会における問題点の提示と今後の展開を特に日本に関して研究することを目的として、口頭による学会発表を行う。			
主な参加者の氏名・所属・国籍等	Prof. John Smith, University of Canada 東京次朗, 東大学大学院教授			
過去の開催状況	開催年度		開催地	
	2024		カナダ	
本会議・調査参加により期待される効果	<p style="color: red; text-align: center;">開催時期との関係で「参加プログラム」の提出が難しい場合は、参加が確認できる主催者とのメールなどを“参考”として添付してください。 受給決定後、助成金の請求までに改めてプログラムを提出してください。</p>			
<p>※ 海外での活動内容がわかる参加プログラム等の資料を添付して申請してください。 なお、資料の該当箇所(氏名、発表日、テーマなど)をハイライトで表示してください。</p>				
※ 併願をしていないことの確認	<input checked="" type="checkbox"/> (併願がなければ左の□に✓をいれてください。)			

4. 申請者連絡先等（このページに記載していただいた内容は審査には使用しません。）

申請者氏名	(お手数ですがお名前をもう一度記入してください) 横浜 市郎		
研究分野	(ご自身の専門分野について自由に記載してください) 国際社会問題、国際貿易問題		
電話連絡先 (日中の連絡先)	↓優先順位 (左の枠に番号で優先順位を入れてください)		
	2	所属機関	045 (123) 4567 (内線 1234)
	3	自宅等	(どちらかを選び空欄に○をつけてください。)
			1 ○ 1ページ目の現住所(自宅)欄の番号と同じ
			2 2 その他の番号 ()
1	携帯電話	(差し支えなければお知らせください。選考委員会開催時に使用する場合があります。) 090-1234-5678	
メールアドレス	メインのアドレス	(どちらかを選び空欄に○をつけてください。)	
		1 ○ 1ページ目の現住所(自宅)欄のアドレスと同じ	
	2 2 (メアド記載)		
	携帯メール等	(他のメールアドレスへの送信も希望される場合のみ記載してください)	
書類郵送先	2025年8月上旬の決定通知送付先		
	〒	(1ページ目の現住所(自宅)と同じ場合は記載省略可) 現住所以外に決定通知送付を希望の場合はこちらに記入してください。	

【海外渡航費助成上限額：円】 ※申請額を記入の際、この上限額にご留意ください。

渡航エリア	一般（大学院生以外）	大学院生
1 ヨーロッパ・アフリカ・南米	200,000	100,000
2 北アメリカ・オセアニア	150,000	70,000
3 アジア(韓国、台湾を除く)	70,000	70,000
4 韓国・台湾	50,000	50,000

一般研究者助成額
大学院生助成額

【助成金受給者の義務等に関する事項】

必ず確認した上で申請を行ってください

海外渡航費助成	
1	<p>受給者の義務</p> <p>助成金受給者は以下の義務を負うものとします。</p> <p>(1)帰国後2カ月以内に関係書類を添えて成果報告書・渡航費領収書等を理事長あてに提出すること。</p> <p>(2)当財団の学術教育活動に協力すること</p>
2	<p>計画変更</p> <p>助成金の対象となった渡航計画を変更しようとする場合は、あらかじめ理事長にその旨を申し出て、承認を得なければなりません。</p>
3	<p>採用取り消し及び返還</p> <p>次の各号に該当する場合は採用を取り消し、既に支給されたものについては全額または一部の返還を求めることがあります。</p> <p>(1) 他の助成金と重複受給したとき</p> <p>(2) 申請書の内容が事実と著しく相違したとき</p> <p>(3) 渡航を実行しないとき</p> <p>(4) 当財団の助成に関する規程等に違反したとき</p> <p>(5) その他、理事長が不相当と認めたとき</p>